

ずし楽習塾 だより

2009. 9

NO. 10

NPO法人ずし楽習塾推進の会
電話・Fax 046-871-7007

学びあい 教えあい ふれあい

生涯学習活動推進団体

座談会（協働とは？）



ずし楽習塾推進の会のパートナーが「市民協働課」に変わりました。7月31日（金）、市民協働部次長の杉山さんを交え、代表理事の櫻田さん・関さん・高畠さんに「ずし楽習塾推進の会の目指す方向など」を話し合ってもらいました。

司会・七海

七海）市民協働課の“協働”にはどのようなメッセージが込められていますか。

杉山）平井市長は「市民との対話と協働」というキーワードを使っており、「公（逗子市）、共（市民団体など）、私（市民）」が対等な立場で話し合い、お互いを理解し、合意形成を図りながら目標を達成するために協力していこうということです。

市民交流センターが市民活動の中心的な場になっていますので、そこに市民協働課を置き、皆さんと連携をとって様々な事業を協働で行っていく狙いがあります。

高畠）共に一体となって目標を達成する“共同”とは違い、「公、共、私」それぞれが得意分野で協力して働き目標を達成するということですね。

杉山）そうですね。
市民も市民団体も多

様な素晴らしい能力や知識を持っています。それぞれ得意な分野で能力を発揮し、逗子の街づくりの一翼を担っていただければありがたいと思います。皆さんの目標が達成するためのサポートやコーディネート役割が、市民協働課や市に期待されていると思います。

関）近隣の自治体の例で恐縮ですが、パソコン教室が常設されています。行政と市民のニーズが高く、ボランティアで教えてくれる講師がいるので、盛況です。

逗子市はボランティアの講師がバラバラに活動している印象です。「ずし楽習塾」でも委託講座でパソコン入門講座をやりたいと思いますが、市民協働課には講師のスキルを持っている市民団体などと連携が取れるようにコーディネートしていただけるよう期待します。

七海）生涯学習に関して、従来の生涯学習課の業務を引継いだ市民協働課と社会教育課の違いはありますか。

杉山) 社会教育課は教育委員会の視点から学習活動を捉えますが、市民協働課になったことで、「協働」という考えが進められます。市民協働課は従来の生涯学習課に比べより柔軟に様々なものに対応できると言えますね。

「ずし楽習塾」はすでに市民協働課が担当する生涯学習(いつでも、誰でも、どこでも、様々な学習)に取り組んできています。今まで積み上げてきた多様性、専門性、自立性に加え既存の制度や価値観にとらわれない柔軟性を発揮していただければありがたいです。

七海) 「ずし楽習塾」に期待することやアドバイスをお願いします。

杉山) 市民協働課からのお願いになりますが、市民活動のリーダーを育てる講座が市民委員が参加しているⅣ型で開けないでしょうか。市民活動ノウハウ講座でも良いのですが。

櫻田) 「市民活動のリーダー養成講座」は従来の生涯学習課とは別の部署でやっていたね。我々が拠り所にしてきた「生涯学習プラン」にも見当たらないので頭の切り替えが必要ですね。

杉山) 市でもやってはいましたが、市民により近い「ずし楽習塾」が市民と協働で講座を作り上げた方が知恵が結集できるのではと思います。

関) 市民活動のリーダーには、「個」の思いをつないで地域のパワーに結集する。一方で「公」のフィルターもクリアするというセンスが必要です。座学ではなく、市民活動を経験して身についてくるスキルです。

「リーダー養成」はおこがましいが、「どうしたらボランティア活動がうまく進められるか」の疑問に答えたり、市民活動に飛び込むきっかけ作りの支援・協力などはできるのではと思います。

杉山) 次に「ずし楽習塾」にもっと多くの会員が入って多様な意見が飛び交い、「ずし楽習塾」に来ること自体が楽しく学べる場所になればより素晴らしいと思います。

関) 私たちはよりオープンな組織運営に心がけ、楽しく「学びあい」「教えあい」「ふれあい」の場を作っていきます。

市民委員が参加しているⅢ型やⅣ型でテーマを決める場合は、「学びあい」「教えあい」「ふれあい」の実践の場になっています。

櫻田) 世代間交流事業は「ずし楽習塾」の大きなテーマです。世代間交流は正に「共育」で、シニアと小学生が「学びあい」「教えあい」「ふれあい」の場を持たなければなりません。会員にお父さん・お母さん世代がいれば、シニアと小学生が交流できる知恵が出せるかなと思います。

「ふれあいスクール」への出前講座方式で小学生へアプローチを模索したりしています。

杉山) 従来の生涯学習課が担当していた「ふれあいスクール」は福祉部の児童青少年課に移りました。「学校支援地域本部」が今年からスタートしましたが、お考えの出前講座も学校側のニーズがないと難しい面がありますね。

櫻田) 従来は生涯学習課との対応で世代間交流事業を取り上げてきましたが、市の組織変更で「ずし楽習塾」は教育委員会よりも市民協働課との関係が強くなりました。別途、世代間交流事業をどう進めるか相談させてください。

七海) 欠席の谷道さんに代わってお聞きします。今年度のⅠ型講座も幅広いジャンルで開講しました。健康志向の講座や語学中級講座が新たに加わりました。従来は趣味的な講座が中心で「入門編、きっかけづくり」という規制を掛けていましたが、柔軟に対応できたのかなと思います。

杉山) 市の施設を利用しての講座ですから一定の規制はありますが、市民のためになる内容なら基本的にOKですね。健康講座などは皆さんの関心事ですよ。

語学中級講座も初級を終了した人しか受講できないというのではなく、だれでも申し込める開かれた講座であれば問題ないですね。

七海) 皆さん、本日はお忙しい中ありがとうございました。

彩り豊かな I 型講座

先生を市民から募集しての I 型講座が始まりました。今年新しく登場した講座には、楽しく躍動する「社交ダンス」「ピラティス」「フラメンコ」、花を長く愛でる「プリザーブド・フラワー」、又「逗子のまちなみを昔の地名・道から探る」「フランス語入門」そして健康志向の「ネイルセラピー」があります。

「フラメンコ」の講師、樋口晴美さんにお話を伺いました。

スペインでフラメンコを学び教えて16年過ごしてきましたが、その経験から自分が楽しいと思ったことを一人でも多くの方々に体験してほしいと思っています。

スペインの週末では、食事の後にごく自然に歌声が起り身体を動かし、皆で楽しめます。歌と踊りを含めて食事と言っても良いくらいです。日本でも最近は生活の中に歌が自然に入ってきていますが、踊りはまだ限られていると言わざるを得ません。

今回講座でお伝えしたい「セビジャーナス（春祭りの踊り）」は、ちょっとした場所で皆が集まると、特にスターが居なくとも、手拍子に合わせて誰もが誰とでも自由に組んで気軽に楽しむ、生活の中に入っている踊りです。この講座でフラメンコが特別なものでないことを感じてほしいと思っています。（談）



生活に歌と **踊り** を、オーレイ！

IV 型（市民企画講座）

「子孫から見た咸臨丸の歴史」

の企画に参加して

市民委員 丸山祥夫さん

私は耳から英語を覚えたジョン万の英語習得法による英語クラス（ジョンマン・クラブ）を逗子で主宰していて、日本の夜明けに多大な貢献をしたジョン万こと中浜万次郎の研究をしています。そのご縁で「咸臨丸子孫の会」の「ジョン万研究家」として特別会員になりました。

「ずし楽習塾」に市民委員として参加しました私は、上記の講座テーマを提案しましたところ、「歴史を創った人物たちの子孫から直接書物にも載っていないような話を聞きたい」とのご賛同を得ました。

「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらず」をモットーに日本で民主主義を啓蒙した福沢諭吉は咸臨丸で通訳として派遣された中浜万次郎と一緒にあります。福沢はそれ以前に米国で10年も過ごしたジョン万により民主主義について開眼されたと言っても過言ではありません。

その他に勝海舟を始め多くの若いサムライの夢と情熱により米国で見聞、習得した貴重な体験が今日の日本の基礎となりました。

咸臨丸に関しては多くの書物が出版されていますが、今回の講座の特徴は、咸臨丸の祖先の貴重な資料や言い伝えを保持している子孫に、直接当時の歴史を語ってもらうことです。

その後数回の委員会で内容も充実させ、講座開講の準備も着々と進んできました。

第1回（10月8日）と第2回（10月15日）の2回の続き講演です。

講師は咸臨丸の蒸気方（現在での機関長）の小杉雅之進の曾孫の小杉伸一氏です。勝海舟や中浜万次郎等の子孫から直接質問に答えてもらう趣向です。

「激動の幕末期に活躍した若きサムライ達の想いと足跡」を期待して多数ご参集下さい。



Ⅲ型の“楽・習&推進”

以前は市民大学講座と言ったものの流れを汲むのがⅢ型講座です。

因みに今年10月開講のテーマは『日本の近代史をめくろう』です。明治維新から昭和の初めまでの70年間、驚きの速さで行われた激動の日本国家の近代化・列強国入りを、外交・内政・経済産業・生活文化の4つの流れから歴史の真実・光と影を一我々シニア世代は戦中戦後を通じてこの間の歴史をよく習わなかった嫌いがありますので一改めて学び直し、次の世代に繋ごうという企画です。

公募市民と会員4名ずつでプロジェクトチームを組み半年かけて準備をします。一本筋の通ったテーマを設定し、2時間8回の本格的な講座を組みます。

テーマとアイデア（こんなことが知りたい・このように知らせたい）を出し合い、議論を重ねて絞り込み、講師を捜し求め下打ち合わせするなど、開講に漕ぎつける過程で得られるものは、単に講座を聴くだけの何倍も大きな学習があります。

その上、市民の皆さまに喜んでいただけた時、“楽習塾”を推進するボランティア活動にも一層大きな充実感があります。



今後は、座学形式での知識の獲得に留まらず、実益的・体験参加型の講座に工夫するなど、もっと進化させたいのです。あなたの社会経験、幅広い

視野からの知恵と工夫をこの講座創りに活かして頂けませんか。

来年度からは、もう少したっぷりと時間をかけて、講座の内容を充実させるために、市民公募の時期を従来より前倒しするなどを検討中です。

あなたも是非参加して下さい。お待ちしております。

多様なグループを支援するⅡ型

逗子市でも生涯学習・社会教育・福祉活動・社会活動ほか数多くの団体・グループが、多彩な公益的な活動をしています。この中で、発足間もないもの、新しい分野への展開、市民の理解を得て多彩な参加を促したいものもあるでしょう。

このような団体・グループが企画・主宰して講座セミナーを持つ時に、この周知PR・講師招聘などを、推進の会がスタッフとして支援します。

今年のⅡ型の一つは、幅広い年令の公募者共演によるプチミュージカル『地球MyMother』を題材に掲げた、発足間もない『湘南演劇塾』を支援します。プロを育成するという演劇講座でなくても青少年育成であり、互いに理解しあい共同する世代間の交流が興るのですから、それもまた大きな楽しみでしょう。

そこでは小さい子供も一人分の場を得て、しっかりした姿勢と発声で、他の人と共同で劇を作り上げるという体験をするでしょう。

シナリオと振り付けにしたがってチームワークする自覚と責任を持つと、小さいなりに自立するトレーニングができ、見違えるほど成長をするのをみたことがあります。

他にも、同一目的、類似活動ながら異なる団体で主宰される複合活動・ジョイントセミナーなど、例えば子ども会やその少年リーダーの交流育成、自治会活動等の人材育成セミナーなどもあるかもしれません。もっと多様な発展を模索していきたいと考えています。

NPO 法人ずし楽習塾推進の会

I, II型講座開設への企画・受講者募集・開講支援

Ⅲ型プロジェクトへの参加・講座実務 会報の発行・HP作成

IV, V型講座の企画・開設・運営 地域連携活動

連絡先：〒249-0006 逗子市逗子4-2-11 市民交流センター（内）

会員募集 いつからでも入会歓迎！

2009年8月31日現在

正会員：24名 賛助会員：19名

正会員 年会費 1000円（一口以上任意）

賛助会員年会費 2000円（一口以上任意）